

技術検討レポート



道路交通に関連する現状分析の結果や、道路網構築の視点等、道路網計画の計画検討の過程を「技術検討レポート」としてとりまとめました

目次	はじめに	… 3
	1. さいたま市の概況	… 5
	2. 道路行政を取り巻く状況及び社会的要請	… 11
	3. 道路行政に係る上位関連計画	… 34
	4. 計画の検討で考慮すべき視点	… 40
	5. 将来道路網の構築（各視点での評価結果）	… 46
	6. 車線数のチェック	… 79
	7. 幅員のチェック	… 84
	8. ネットワークパフォーマンスの評価	… 89
	9. 道路の類型化	… 100

はじめに

これまでの道路網計画の振り返り

高度経済成長期

- 背景：人口は増加、人口増加に伴い市街地が拡大、移動の観点では自動車中心の社会
- 道路整備の方針：増加する自動車需要に対応した都市計画道路の計画・整備

現計画検討時（平成22～24年頃）

- 背景：人口減少社会が到来、都市経営の観点から持続可能なまちづくり・都市のコンパクト化が進む
- 道路整備の方針：都市・人口規模に合わせた自動車のための道路網への転換。
需要ではなく必要性に着目し、道路網を構築

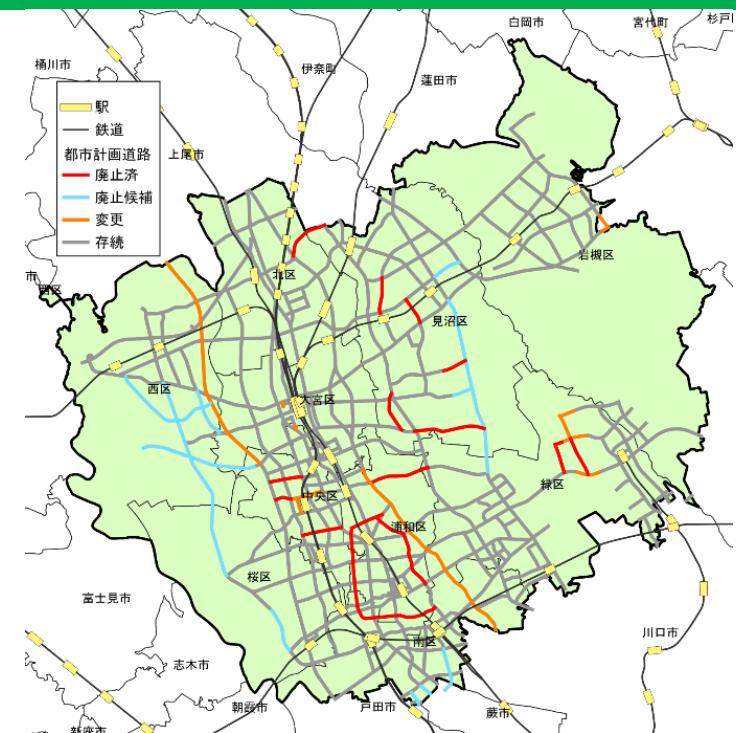
平成24年10月

さいたま市道路網計画を策定

平成24年度～令和2年度には、順次都市計画変更手続き（都市計画道路の廃止など）

平成24年度より廃止候補路線に位置付けられた25路線約45kmのうち、15路線約22kmの廃止手続きを行い、存続候補路線においても、幅員の減少等13路線の都市計画変更手続きを行った。

↓
都市計画道路のダウンサイジングは進んだ



1. さいたま市の概況

道路網計画（P2～10）

都市計画道路などの幹線道路の現状と課題に該当

- さいたま市は、埼玉県南部にあり、東京都心部からおおよそ30kmに位置している。
- 市の大部分は、大宮台地や岩槻台地等の台地上に存在しており、台地と台地の間には、荒川、芝川などの河川が存在する。

さいたま市の位置



出典：さいたま市都市計画マスタープラン

地勢



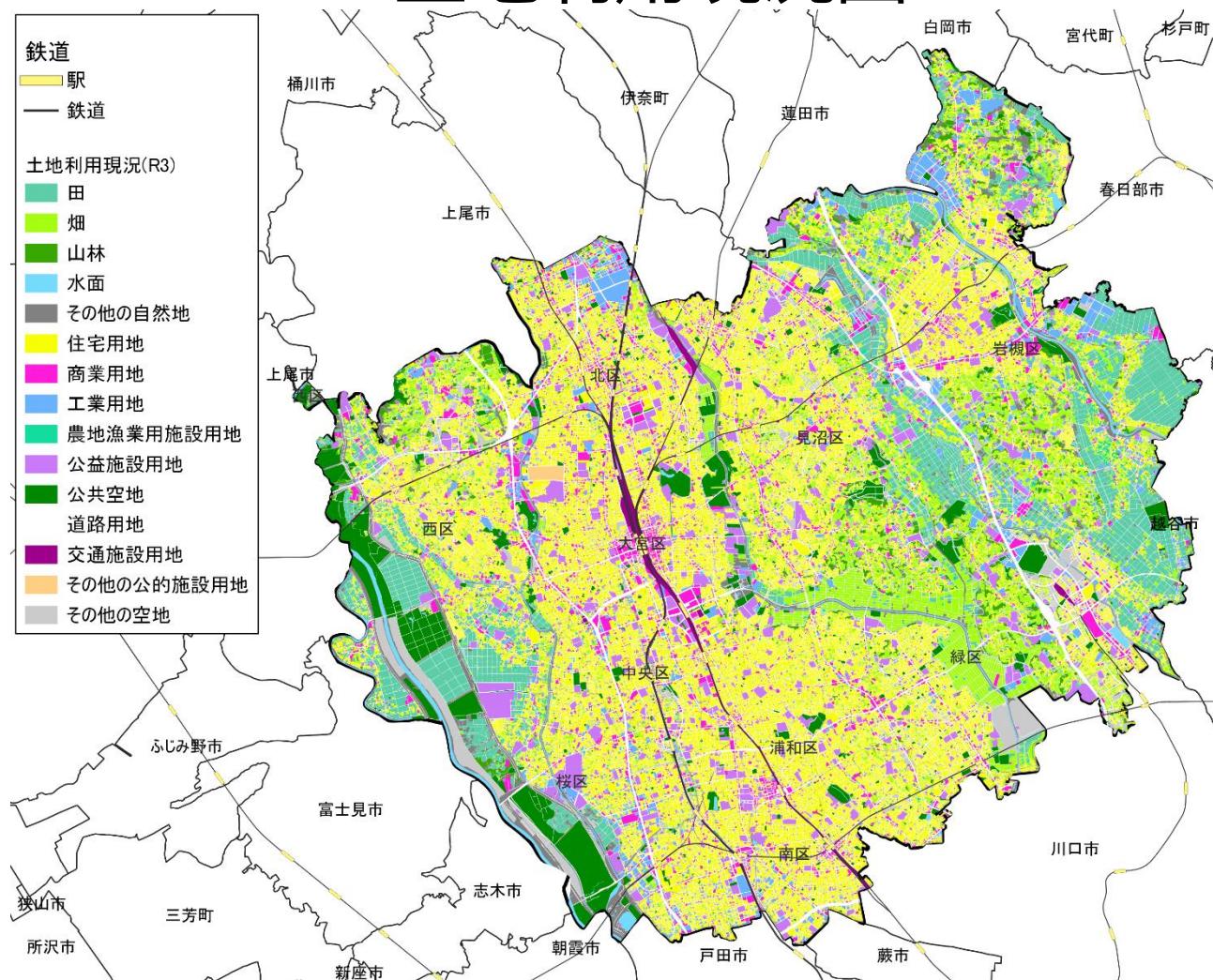
出典：埼玉県の地形区分と名称図（1975 村本達郎氏による）を基に作成

出典：さいたま市都市計画マスタープラン

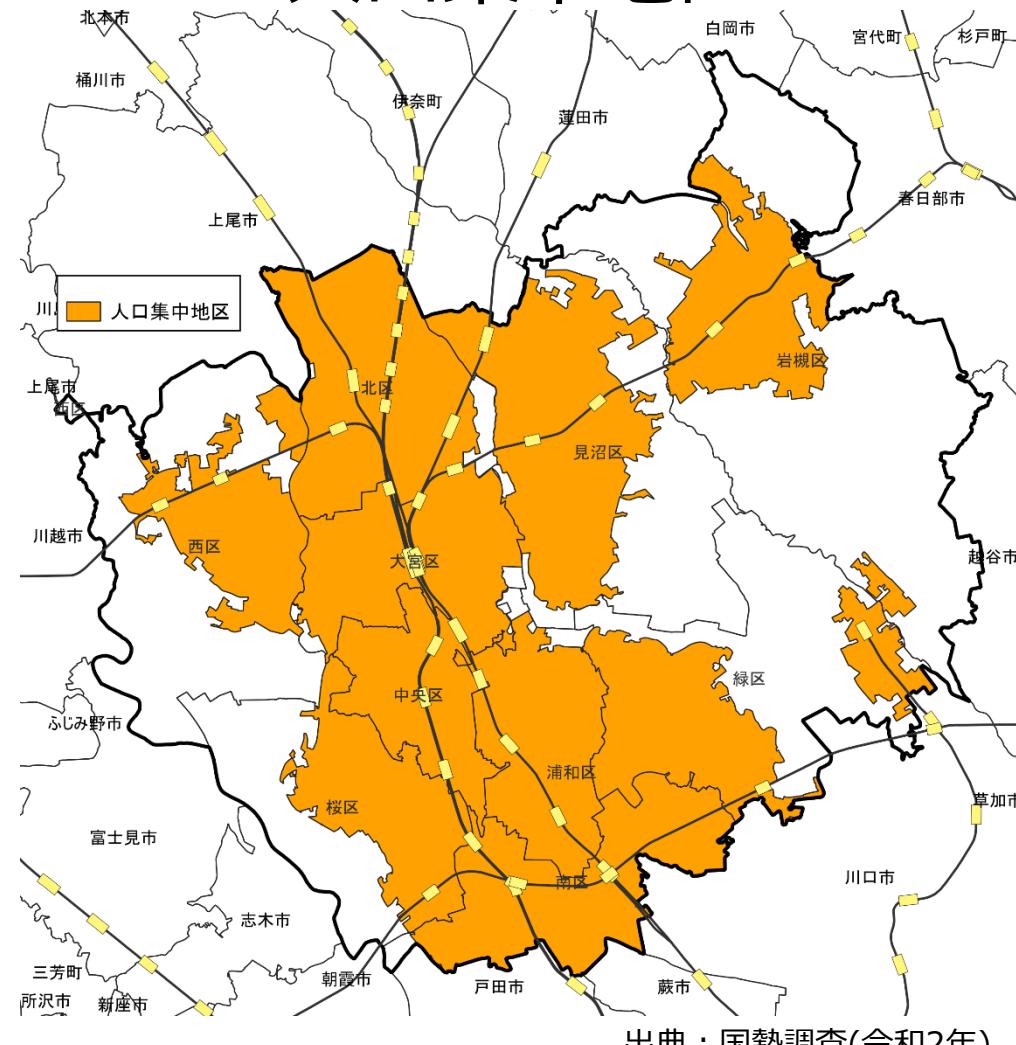
土地利用と人口集中地区

- 住宅用地は市の西側を中心に広がっており、田畑は市の東側の河川沿いと西端の荒川沿いに広がっている。商業用地は大宮駅周辺を中心に、幹線道路沿いに点在している。
- 人口集中地区は、市の広範囲にわたっている。

土地利用現況図



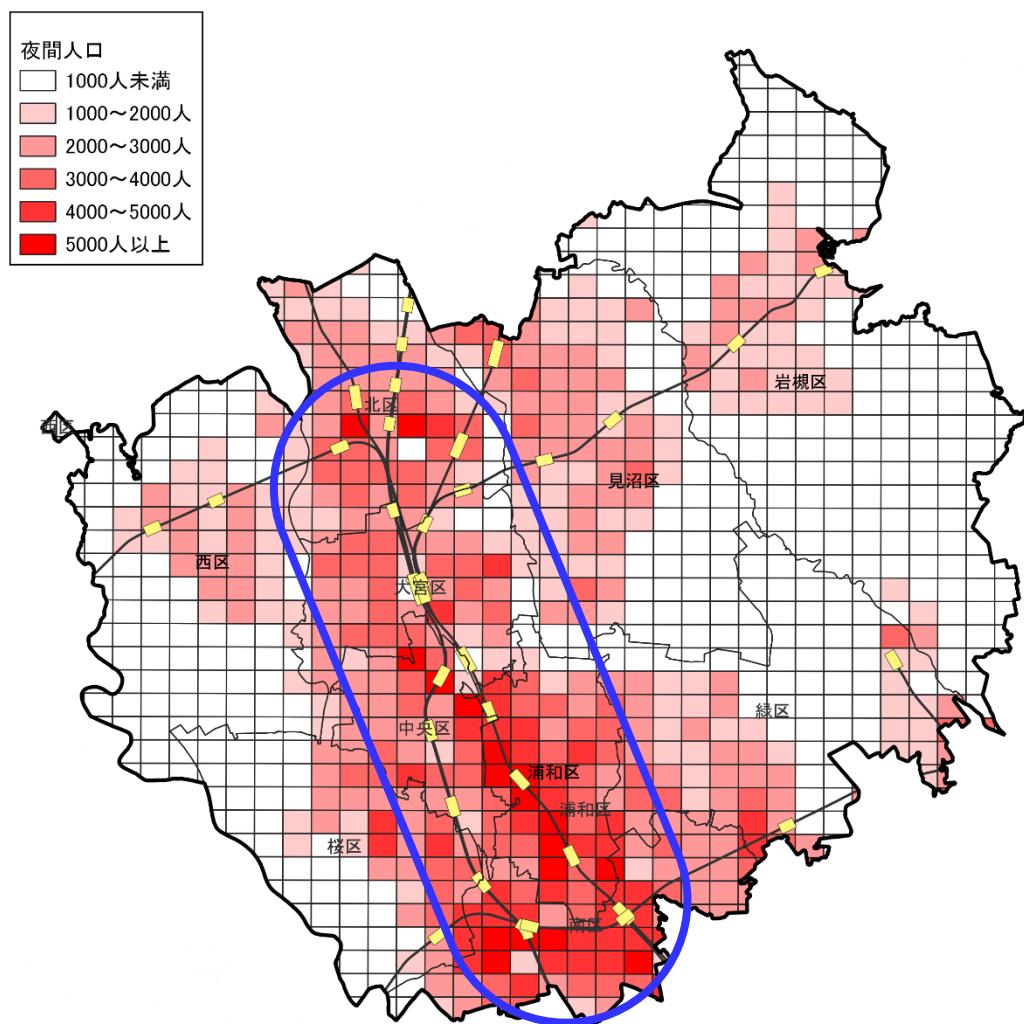
人口集中地区



夜間人口の分布と推移

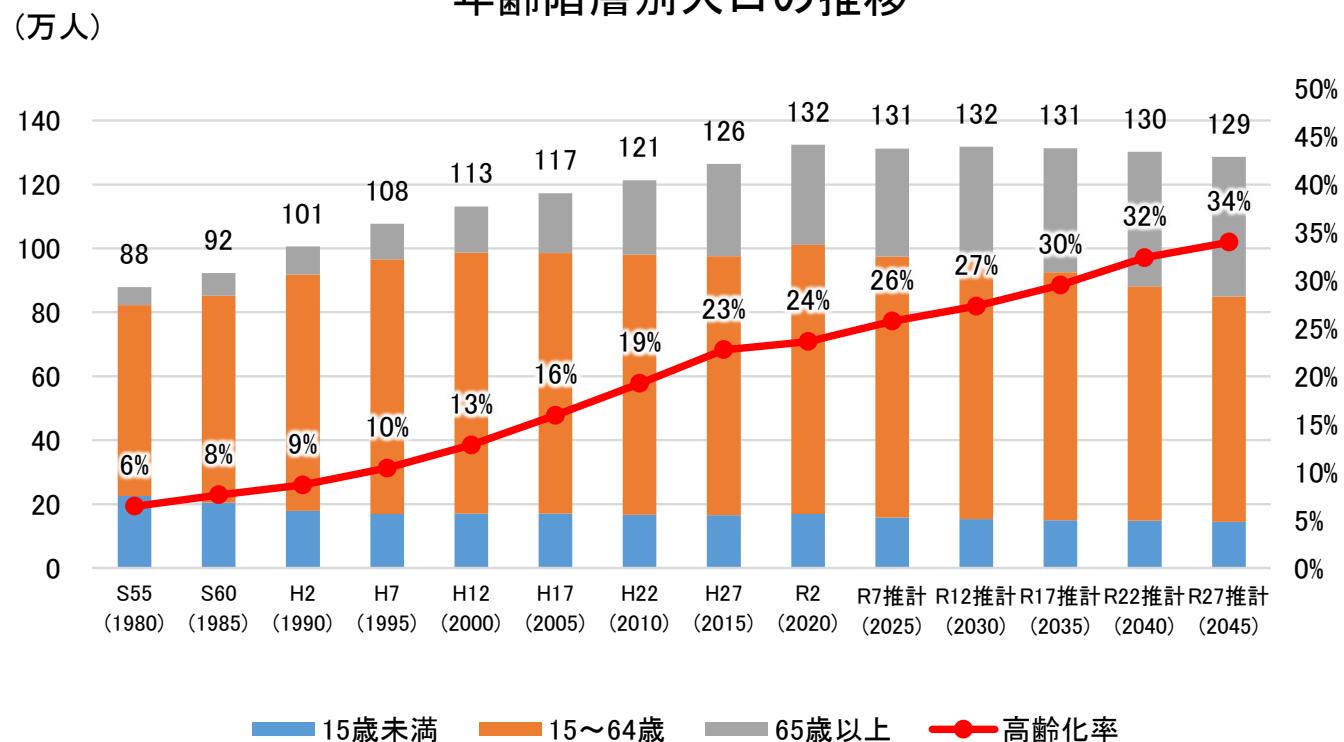
- さいたま市の夜間人口は、市内の鉄道沿線、市西部に集中している傾向がある。
- 人口の推移は増加傾向にあるが、令和12年ごろの132万人をピークに、減少傾向に変わると推計されている。
- 高齢化率は年々増加傾向にあり、将来的には30%を超えると推計されている。

夜間人口の分布



出典：国勢調査(令和2年)

年齢階層別人口の推移

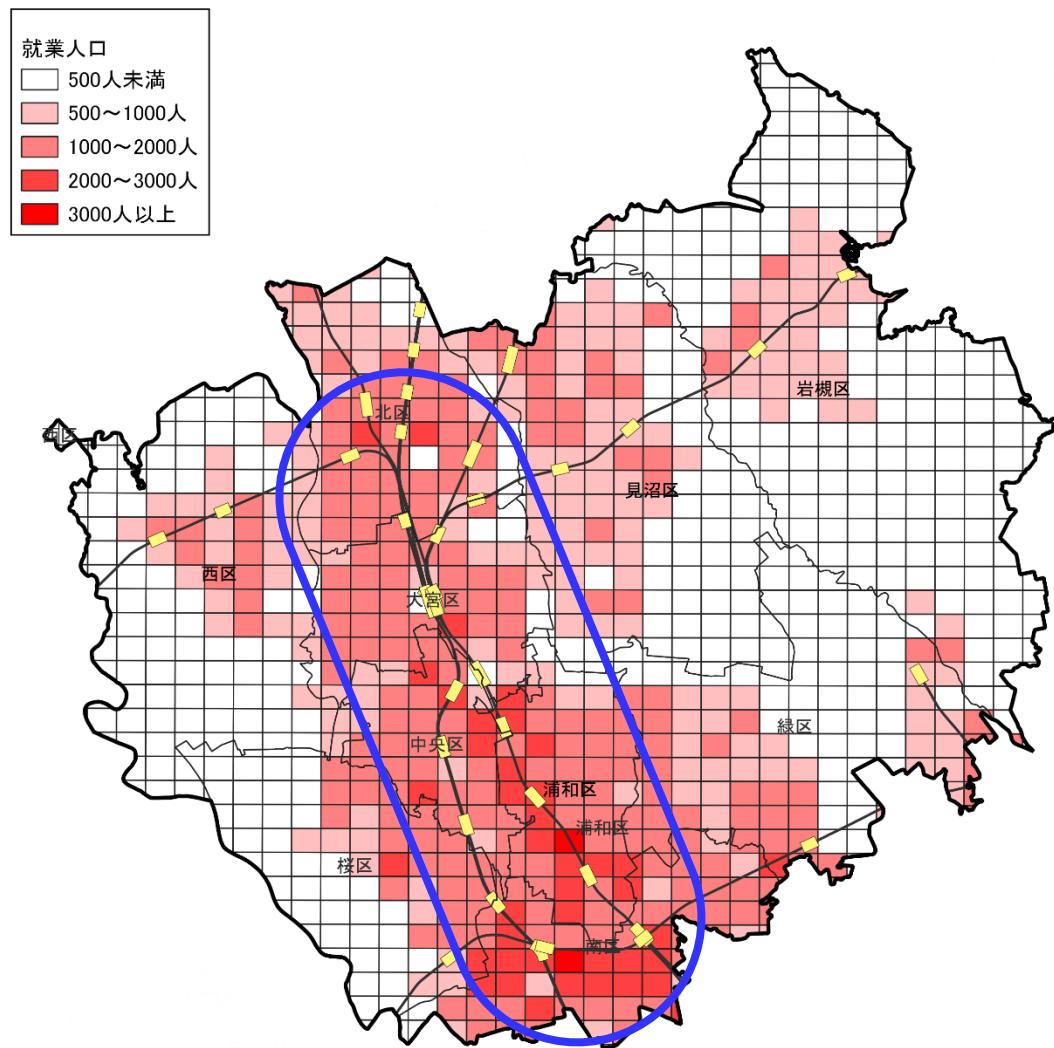


出典：昭和55～令和2年人口：国勢調査
令和7以降推計人口：日本の地域別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)

就業人口の分布と従業人口の推移

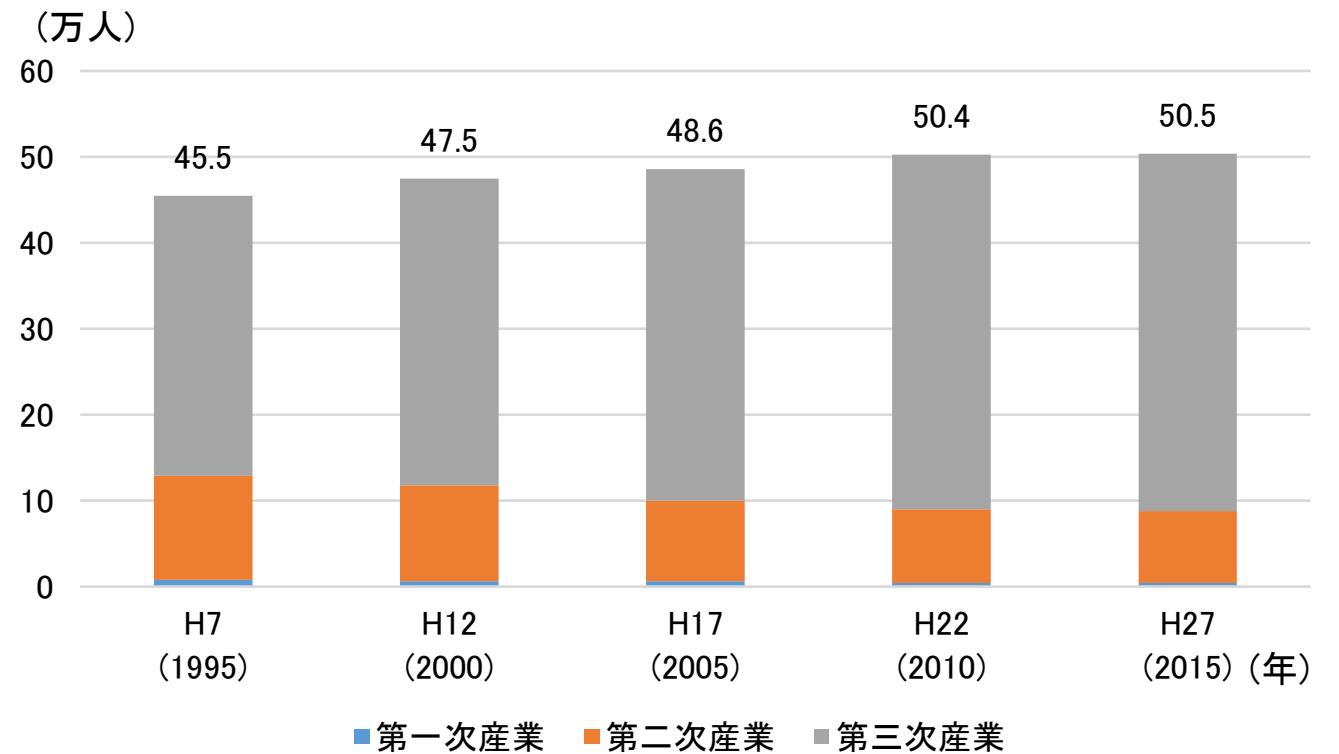
- 就業人口の分布をみると、市内の鉄道沿線、市西部に集中している傾向がある。
- 従業人口の推移では、総数は一貫して増加が続いているが、第一・二次産業の従業人口は減少している。

就業人口の分布



出典：国勢調査(令和2年)

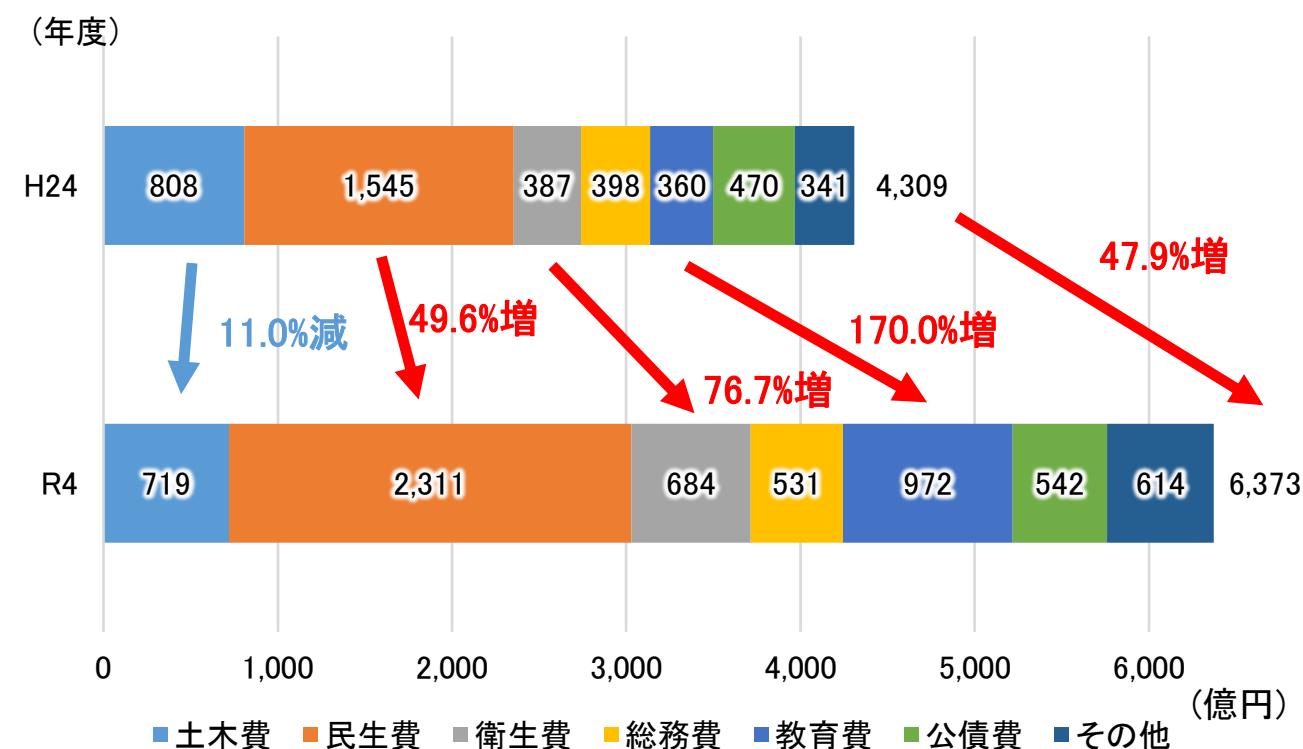
従業人口の推移



出典：さいたま市総合振興計画 基本計画(2021-2030)(令和3年)

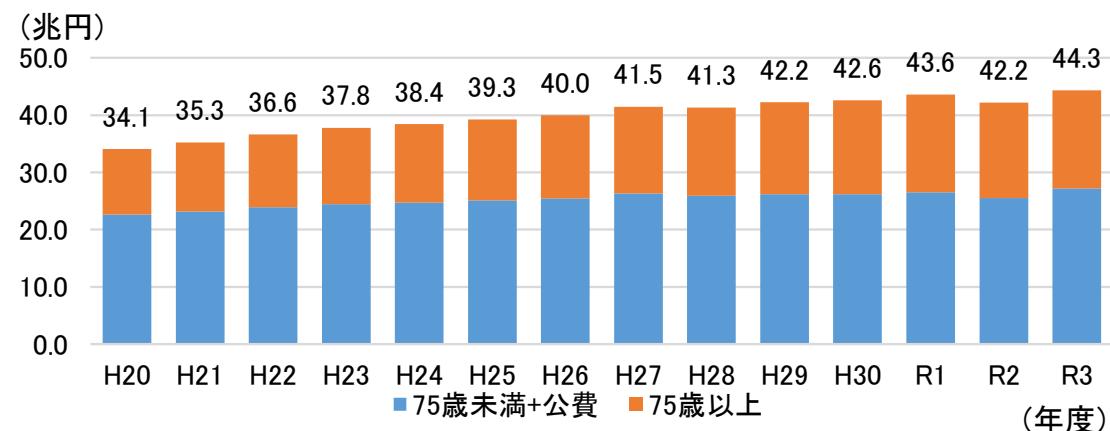
- 都市計画道路の整備にも用いられる土木費は、前回道路網計画が策定された平成24年度と比較すると全体や他の目的の予算増加に対して減少している。これは、少子高齢化の影響により民生費等が増加したことが理由として挙げられる。
- また、医療費は年々増加傾向にあり、加えて、新型コロナウイルス感染症によって財政にも大きな影響が出ており、今後も道路整備にかけられる予算は限られていくものと想定される。

目的別歳出予算の推移



出典：さいたま知っ得予算

医療費の推移(全国)



出典：医療費の動向調査

新型コロナウイルス感染症関連予算

特集 **新型コロナウイルス感染症関連予算**

Q 令和4年度は、どんなコロナ対策事業を行うの？

A 令和3年度に引き続き市民の生命及び健康を守るため、ワクチン接種体制を確保し、迅速かつ確実に予防接種を進めるとともに、自宅療養者に対する医療提供体制を強化するなど、感染症対策を着実に実施します。
 なお、下記の予算は、令和4年2月定例会における令和4年度当初予算の補正を踏まえた額であり、令和4年度中においても新型コロナウイルスの感染状況や国の動向を注視し、機動的かつ弾力的に対応していきます。

令和4年度予算額：約206億円 (うち一般財源 約20億円)

出典：さいたま知っ得予算(令和4年度)